

# やまだリハビリテーション研究所主催研修会

## 2025 年に向けて地域で実践しよう！ 多職種連携時代に必要な セラピストと管理栄養士のコラボ

開催

2018年10月20日（土）  
13:30～16:45（受付開始 13時より）

会場

エルおおさか 6階 大会議室  
地下鉄天満橋駅下車 <http://www.l-osaka.or.jp/pages/access.html>

定員

100名

参加費

3000円

終了後懇親会を予定

懇親会希望者は別途  
参加費を徴収します

### 講師紹介

やまだリハビリテーション研究所 <https://www.facebook.com/yamada.reha.labo>

山田 剛(作業療法士)

1991年作業療法士となる。

リハビリ専門病院、老人保健施設、訪問看護ステーションを経て現在は非常勤掛け持ち作業療法士としてフリーで活動中。ブログ、SNSを駆使しながら情報発信する作業療法士として日々「書く」「話す」ことをしている。

大阪の訪問業界ではそこそこ有名なフリー作業療法士



+S meal(プラスミール) <https://www.facebook.com/senior.eiyou>

小林 美貴(管理栄養士)

フリーランス管理栄養士 大阪府栄養士会 地域活動所属

株式会社 JAST conditioning YLS 栄養事業部マネージャー

NPO 法人 アクティブ成育 理事

一般社団法人 健康栄養支援センター 高齢者栄養部

大手前栄養学院専門学校 管理栄養学科卒業 7年間の福祉施設勤務を経て、各自治体の介護予防教室・食生活改善事業などの講師を務める。2014年にフリーランスの管理栄養士となり、現在はミドル・シニア層を中心に、『食を通して、笑顔でその人らしい生活を送ることができる』をキーワードに、クリニックでの栄養相談・在宅訪問栄養、薬局での健康イベント、各地域での介護予防、講師、講演、レシピ考案など、多方面で活動中。



## +S meal(プラスミール) 小林 美貴(管理栄養士) がお伝えすること

セラピストの皆様、日頃のお仕事の中で管理栄養士と関わることはありますか？そもそも管理栄養士って何者！？と思っている方に必見。地域で活動する管理栄養士が、食支援にまつわるリアルな現状をお話しさせていただきます。そして、対象者が『おうちで安心して過ごせる、その人らしく過ごせる』そのためにセラピスト×管理栄養士ができることを考える第一歩となるような時間にしたいと思います。

- ☑ 地域で活動する管理栄養士ってどんなことしてるの？
- ☑ 管理栄養士の立場から、在宅療養者にどんな栄養アプローチしてるの？
- ☑ 計画書や情報提供書の栄養項目って知ってる？
- ☑ 管理栄養士に繋げるまでにセラピストができること
- ☑ 地域から求められる食支援 などなど

生活期や地域で働く支援者に知ってほしい「今」の課題をフリーランス管理栄養士の立場からお伝えします

## やまだリハビリテーション研究所 山田 剛(作業療法士) がお伝えすること

2018年はトリプル改定では、多職種連携が必要とされる改定が多くありました。リハビリテーション実施計画書では「栄養項目」が記載され管理栄養士との連携が必要となってきました。リハマネ加算や入退院支援加算においても他事業所、多職種との連携が求められています。

- ☑ 2018年同時改定で求められる多事業所・多職種連携の背景
- ☑ 他職種に知ってほしい「今」の地域リハビリテーション事情
- ☑ 2025年に向けて必要なリハビリテーションと多職種連携
- ☑ 「運動」だけでは限界、地域に必要な管理栄養士との連携

2025年に向けて、リハビリテーションの「今」の課題を作業療法士の立場からお伝えします

申し込み&お問い合わせ

やまだリハビリテーション研究所ホームページ <http://yamada-ot.com>



お問い合わせ [info@yamada-ot.com](mailto:info@yamada-ot.com)